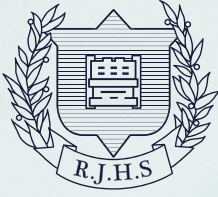


JUNIOR HIGH SCHOOL GUIDE 2027



履正社中学校





Riseisha Junior High School

Contents

教育方針

4 RISEI VISION 2040

コース紹介

6 本校のコース一覧

学藝コース(中高六年一貫)

- 8 教育の特色
- 10 言語技術教育
- 12 放課後のバリエーション
- 14 グローバル進学ゼミ
- 15 プログラミングゼミ
- 16 海外大学進学・国際教育プログラム
- 17 U.S. Dual Diploma Program
- 18 探究・キャリアデザイン
- 19 教員座談会
- 20 STAR WATCHING レポート
- 22 在校生インタビュー

3ヵ年独立コース

- 24 教育の特色
- 26 在校生インタビュー

学校生活

- 28 制服ギャラリー
- 30 クラブ活動一覧
- 32 年間イベント
- 34 施設紹介

進路

- 36 進学先一覧

メッセージ

- 38 ごあいさつ／履正社の沿革
- 39 校歌・校訓

Our Promise

学びをたのしむ人。

学園創立100周年を迎えた2022年、本校は「履正社中学校」に校名を変更し、その年に生まれた子どもが高校3年生となる2040年の社会を見据えて新たな教育指針を打ち出しました。

< RISEI VISION 2040 >

1. 知識をスキルへ —— 学んだ知識を社会で生きる力にしっかりつなげること
2. 国語を言語技術へ —— 言葉を論理的に操り、自立した思考を表現できる力を伸ばすこと
3. ティーチングからコーチングへ —— 教えるだけではなく、学びをたのしむ人を育てること

2023年より装いを新たにした中高六年一貫「学藝コース」の「藝」の字には、「植える」という意味があります。古くより教育の根本は、学びの種を蒔くことで豊かな教養が身につき、やがてそれが花開くということ。

本校は、その教育の花を社会に咲かせることを目標に、変化の大きな時代を生き抜くための、国際的に通用する力を育みます。ようこそ、新しい履正社中学校へ。



Course Introduction

本校のコース一覧

履正社中学校には、
「学藝コース」「3ヵ年独立コース」の2つのコースがあります。

学藝コース(中高六年一貫)

詳しくは
p.8へ



言語技術を武器に、これからの社会を主体的に生きる人を育む。

変化の大きい時代を生き抜くために、これからの社会で真に通用する力を育みたい。中高六年一貫の学藝コースでは、高校受験対策に時間をかける必要がない分、じっくりと学びを深めていきます。特に、グローバル・スタンダードの母語教育である「言語技術」を、教育活動の柱として6年間、週に2コマ実施。また、先取り学習による難関国公立大学受験対策に加えて、学びに向かう探究心と好奇心を養う課外活動や国立大学キャンパスツアーなどを実施し、早期からキャリア意識の育成を促します。さらに、海外の学校や留学生との交流を通じて、海外大学への進学も視野に入れて指導しています。

3ヵ年独立コース

詳しくは
p.24へ

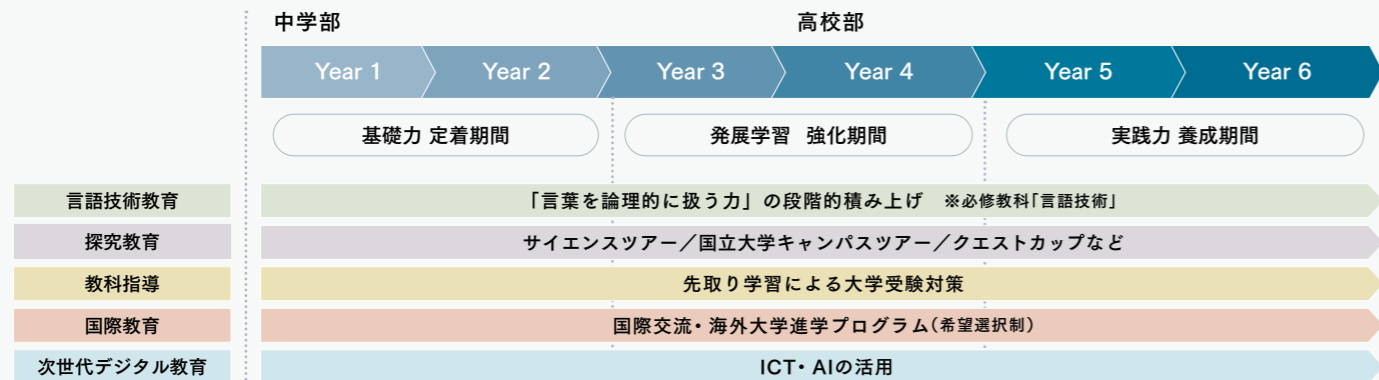


自分で決めた目標に向け、短期集中で真剣に挑む人を育む。

入学時から始まる「志望高校入試」へのカウントダウン。ここには同じ目標を持った仲間たちと切磋琢磨できる環境があります。特徴は、「標準」「発展」からなる「習熟度別」の講座です。教科ごとに、生徒のレベルに応じて授業が展開されるため、効率良く学習を進められます。ラストスパートとなる3年次には、入試対策をはじめ、模擬面接や作文添削など「志望校別」に細やかなサポートを実施。合格を勝ち取る日まで、生徒も教員も真剣勝負の日々が続きます。

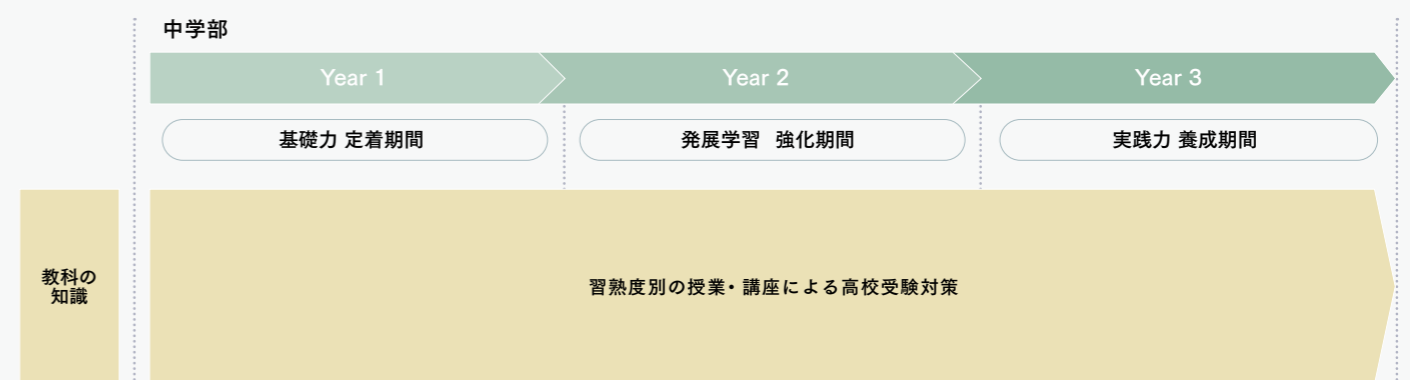
教育段階フロー

2年を1タームとする3ターム制。
高校入試はなく、6年間持ち上りの内部進学コースです。



教育段階フロー

3年後の志望高校入試を目標に、短期集中で学力を伸ばします。



時間割

毎日 8:30 から、15 分間の「朝の活動」で一日が始まります。その後、月曜日から金曜日は6限目まで、土曜日は4限目まで授業があります。1限あたりの時間は50分です。クラブ活動や専攻ゼミなどの放課後活動(p.12)は、月曜日から金曜日までは15:35 から始まり、土曜日は13:35 から始まります。

	月	火	水	木	金	土
8:30~8:45	朝の活動					
1限目 8:50~9:40	道徳	理科	音楽	言語技術	数学1	数学1
2限目 9:50~10:40	理科	体育	数学2		社会	国語1
3限目 10:50~11:40	英語	国語1	理科	音楽・美術	国語1	理科
4限目 11:50~12:40	技術	数学1	社会	国語2	体育	HR
昼休み 12:40~13:25	終礼・清掃 12:40~12:50					
5限目 13:25~14:15	社会	英語	英語	英語	英語	放課後 13:35~15:05
6限目 14:25~15:15	家庭	美術	国語2	体育	数学2	クラブ活動 専攻ゼミ U.S.DDP 帰宅
終礼・清掃 15:15~15:30	放課後 15:35~17:05					
放課後 15:35~17:05	専攻ゼミ or クラブ活動 or U.S.DDP or 帰宅					

※時間割は一例であり、変更の可能性があります。

時間割

毎日 8:30 から、10 分間の「早朝テスト」で一日が始まります。その後、月曜日から金曜日は6限目まで、土曜日は4限目まで授業があります。1限あたりの時間は50分です。クラブ活動や放課後進学講座などの放課後活動は、月曜日から金曜日までは15:35 から始まり、土曜日は13:35 から始まります。

	月	火	水	木	金	土
8:30~8:45	朝の活動					
1限目 8:50~9:40	道徳	英語	社会	理科	国語1	社会
2限目 9:50~10:40	数学1	技術	英語	社会	数学1	英語
3限目 10:50~11:40	理科	国語1	音楽・美術	音楽	理科	国語2
4限目 11:50~12:40	体育	理科	国語2	数学2	体育	HR
昼休み 12:40~13:25	終礼・清掃 12:40~12:50					
5限目 13:25~14:15	美術	家庭	英語	数学1	英語	放課後 13:35~15:05
6限目 14:25~15:15	英語	社会	体育	国語2	数学2	放課後進学講座 クラブ活動 帰宅
終礼・清掃 15:15~15:30	放課後 15:35~17:05					
放課後 15:35~17:05	放課後進学講座 or クラブ活動 or 帰宅					

※時間割は一例であり、変更の可能性があります。

教育の特色

学藝コースの学びには、大きく6つの特徴があります。めまぐるしく変化する社会で生き抜くために必要なのは、言語技術と、主体的に学びに向かう力。ICTを活用し、オリジナルの放課後プログラムと国際教育も取り入れて、時代に求められる教育を推進します。

1. 六年一貫の言語技術教育

履正社中学校では、「言語技術」を教科の一つと定め、週2コマの授業を行っています。(有)つくば言語技術教育研究所との連携のもと、中学校、高等学校の6年間をかけて「言葉を論理的に扱う力」を伸ばすのは、日本で唯一の取り組みです。言語技術で育む「聞く・話す・読む・書く・考える力」は、あらゆる教科を学ぶうえでの学力の土台となります。



詳しくは
p.10へ

4. 海外大学進学・国際教育

「世界は外にあるものではなく、ここが世界だ」をスローガンに、学校にいながらにして多種多様な国際交流ができる機会を用意します。また、海外からの留学生の受け入れを希望されるご家庭のために「ホストファミリーバンク制度」を設けていたり、海外研修や留学、海外大学への進学をフォローアップするプログラムなどがあります。



詳しくは
p.16へ

2. 学びの個別最適フォロー

日々の学習、活動状況、出欠、成績などのデータをICTプラットフォームで一元管理することで、一人ひとりへのきめ細やかな個別指導を可能にしています。また、進路や学習以外の悩みについても、直接相談しづらい場合は、ICTを利用して生徒のことをよく知る教員がサポートする環境を整えています。



5. 学習習慣を身につける「朝の活動」

8:30から始まる15分間の「朝の活動」では、週ごとの学習計画を自ら組み立てます。学習の進捗度を定量的に把握し、時間をマネジメントする力を養うことが目的です。また、学習計画の立案と振り返りの習慣が定着した後は、早朝テストや自学自習のための時間にあてることもあります。



3. 放課後のバリエーション

履正社中高では、放課後の過ごし方を自由に組み立てることができます。選べるプログラムは大きく分けて4種類あり、①専攻ゼミ、②クラブ活動、③履正社ラーニングラウンジ(2026年5月現在、準備中)、④U.S. Dual Diploma Programです。それぞれのプログラムの活動曜日は異なるので、曜日が重ならなければ、自分の興味関心に従って複数を掛け持ちすることもできます。



詳しくは
p.12へ

6. 履正社の探究教育

企業のビジネス課題に挑む探究教育プログラム「コーポレートアクセス」や、生徒が企画・取材・執筆まで担う「履正社中学校新聞」などを通じて、主体的に考え、課題を解決する力を育成。日頃から「言語技術教育」で磨いた論理的思考力をもとに、社会や人と向き合う経験を通して学ぶ意義を実感し、学びをたのしむ姿勢へとつなげます。



詳しくは
p.18へ

※「U.S. Dual Diploma Program」(p.17)は中学校3年生から参加できます。すべてオンラインプログラムとなり、自宅等での個人学習と、授業の受講を行いますので、学習は放課後の時間に限りません。

学藝コース (中高六年一貫)

言語技術教育



全ての学力の土台となる、 論理という「技術」。

本校は、(有)つば言語技術教育研究所と全面提携し、欧米標準の言語技術(Language Arts)教育を導入しています。中高一貫の六年間で体系的に学び、着実に力を伸ばせる設計です。世界標準の論証力と批判的思考を養い、全教科の理解を支える学力の基盤を形成。難関大学入試への対応力に加え、探究や国際活動にも生きる論理的思考を育てます。

言語技術が必要な理由

「センス」に頼らない、積み上げる言語技術。

言葉の力は、才能や感覚だけに左右されるものではありません。本校ではこれを、数学のように誰もが体系的に習得できる技術と捉え、「聞く・話す・読む・書く・考える力」を段階的に育成します。論理的思考の型を身につけることは、国語にとどまらず、数学や理科をはじめとする全教科の理解を深める確かな基盤となります。

世界標準の「論証力」で、 国際社会に通用する力を育てる。

国際社会やビジネスの現場では、結論と根拠を明確に示す「論証力」が求められます。本校では、欧米で標準とされるこの思考技術を中高六年間で体系的に指導。多様な価値観を持つ他者と対等に議論できる力を養い、将来どのような環境においても自立して活躍できる、確かなコミュニケーション力を育成します。

「正解」のない問いに向き合い、 批判的思考力を育てる。

感情や印象に流されるのではなく、文章や事象を客観的な根拠(エビデンス)に基づいて分析する「クリティカル・シンキング(批判的思考)」を体系的に指導します。情報を多角的に捉え、自らの考えを論理的に構築する力は、難関大学の記述式問題や総合型選抜への対応にとどまらず、AI時代に求められる「問いを立て、解決へ導く力」の中核となります。



履正社中学校の「言語技術」の特徴

日本で唯一の、中高六年一貫指導。

中学校の学藝コースでは、「言語技術」を主要教科の一つとして位置づけ、週2コマの授業を実施しています。欧米で標準とされる言語技術(Language Arts)を、中高六年間で体系的に学ぶ独自のカリキュラムです。「聞く・話す・読む・書く・考える力」を基礎から応用へ段階的に積み上げ、全教科の理解を支える学力の土台を形成。難関大入試への対応力と、将来社会で自立して活躍できる力へとつなげます。

英語など、他教科への相乗効果。

言語技術で培う「論理的思考力」は、全教科の学びを底上げします。英語においては、世界標準の「思考の型」を習得することにつながります。また、母語で論理を組み立てる力が、海外研修や短期留学先での深い対話や議論を可能にします。数学の証明や理科の考察における論理の構築、社会の多角的な資料分析、国語の記述力向上などにも直結。自ら問いを立て、根拠をもって説明できる力を育てます。

プログラムの体系



代表的なプログラム



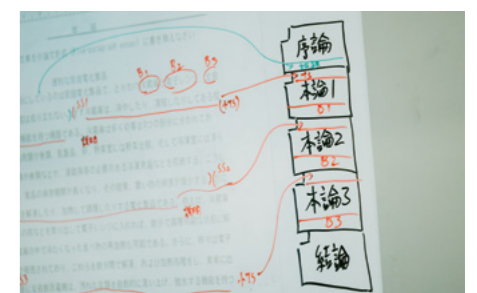
問答ゲーム

言語技術教育の「イロハのイ」と言える対話トレーニングです。世界標準の論理構造「結論→根拠→まとめ」の型を用い、主語を明確にして考えを述べる習慣を身につけます。この思考の型を文章表現へと発展させたものが「パラグラフ・ライティング」です。話すことと書くことを連動させながら、小論文やプレゼンテーションにも通用する論理的な発信力を育成します。



絵やテキストの分析

「何となく」の感想から脱却し、絵画や文章を客観的な根拠(エビデンス)に基づいて分析・解釈する「クリティカル・リーディング」を習得します。絵の分析から始めて観察眼を養い、徐々に複雑なテキスト分析へ移行。年に数回、小説を一冊通して精読・考察する「丸本分析」と呼ばれる授業を通して、要点を圧縮して理解する力や、論理的・構造的な分析力を鍛えます。



空間配列

情報を整理し、相手にわかりやすく伝えるための手法の一つが「空間配列」です。「全体から部分へ」「大から小へ」の論理的順序で物事を描写する訓練を通じ、頭の中のイメージを正確に言語化する力を磨きます。この構成力は、全教科の記述力向上を支える基礎技術であり、将来、仕事や日常生活においても自らの考えを的確に伝えるための確かな基盤となります。

学藝コース (中高六年一貫)

放課後のバリエーション



豊富なプログラムの中から、自由に選ぶ放課後。

本校では、専攻ゼミやクラブ活動をはじめ、生徒一人ひとりの力を伸ばす多様なプログラムを用意しています。それぞれの活動曜日は異なり、曜日が重ならなければ掛け持ちすることも可能。自分だけの学校生活を設計できます。

組み合わせのポイント

POINT 1 プログラムの掛け持ちができる

専攻ゼミ、クラブ活動、U.S. Dual Diploma Programの開講曜日が重ならなければ、掛け持ちすることができます。

POINT 2 複数のクラブ活動の掛け持ちができる

中学校の生徒に限り、屋休みに活動する文化系クラブと、放課後に活動する運動系クラブを兼部することができます。

POINT 3 放課後プログラムへの参加は任意

専攻ゼミ、クラブ活動、U.S. Dual Diploma Programへの参加は必須ではありません。任意での参加になるので、自由にアレンジしてください。

選べる放課後プログラム



1 専攻ゼミ

履正社中学校・高等学校が独自に設けている専攻ゼミでは、目指すべき進路に向けて学びを深める学習系ゼミや、将来に生かせる専門性を磨くスキルアップ系ゼミなどを展開しています。



2 クラブ活動

文化系、運動系の多彩なクラブ活動を設けています。活動日数は原則週3日とし、曜日を定めることで、学習との両立を図っています。
※中学校のクラブ活動は、高等学校のクラブ活動とは異なります。



3 履正社ラーニングラウンジ

校舎1階のカフェテリアでは、有料プログラムとして集団型個別指導を開講する予定です(2026年5月現在、準備中)。チューターが常駐し、自習中の疑問や学習上のつまづきにその場で対応します。



4 U.S. Dual Diploma Program

米国の高校卒業資格を取得するためのプログラムです。修了者は、履正社高等学校卒業時に、アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリアなどの提携40大学への入学が保証され、優秀者には最低1万ドルの総合型奨学金が授与されます。

プログラムの選び方

STEP 1

活動曜日を調べる

各プログラムは「月・水・木」に行われるものと、「火・金・土」に行われるものに分かれます。自分が参加したいプログラムが何曜日に行われるか調べましょう。

中学校(学藝コース)

	月	火	水	木	金	土	日
専攻ゼミ	国公立/医学部進学ゼミ	●		●	●		
	スタンダード進学ゼミ	●		●	●		
	グローバル進学ゼミ(90分)	●	○	●	●	○	○
	プログラミングゼミ(90分)		●			●	●
履正社ラーニングラウンジ(有料)	平日の放課後はいつでも利用可能						
クラブ活動		●			●	●	
U.S. Dual Diploma Program(有料)	●		●	●		●	●

※「グローバル進学ゼミ」はレベル別に、中学校、高等学校合同で行います。
※「U.S. Dual Diploma Program」は中学校の学藝コースに所属する方が受講可能で、3年生から参加できます。すべてオンラインプログラムとなり、自宅等での個人学習と、授業の受講を行います。

STEP 2

自分が参加するプログラムを決める

①月・水・木のプログラムと、②火、金、土のプログラムを組み合わせ、自分だけの放課後を設計してください。
※活動曜日は2026年度の実績であり、変更の可能性があります。

履正社中高 オリジナルの 専攻ゼミ

生徒一人ひとりの多様な進路志望に応じて、専攻ゼミを選択することができます。
※ゼミの内容は予定であり、変更の可能性があります。
※専攻ゼミは原則無料ですがAtama+ゼミは有料です。



国公立/医学部進学ゼミ
(週3日)

東京大学、京都大学をはじめとした国公立大学や国立医学部への入学を希望する生徒に特化したゼミになります。授業で履修した内容を、応用問題なども含めて深く学習しています。



スタンダード進学ゼミ
(週3日)

放課後もしっかり学校で学び、目標とする大学への現役合格を実現したい生徒へおすすめのゼミです。早慶、関関同立など難関私立大学に合格するレベルを想定しています。



詳しくは p.14 へ

グローバル進学ゼミ
(週3日)

中学卒業時に英検2級相当以上の、高校卒業時には海外大学への入学を可能にするレベルの英語力を身につけることを目標に掲げ、ネイティブ教員を中心に「英語4技能」を伸ばします。



詳しくは p.15 へ

プログラミングゼミ
(週3日)

思考錯誤を繰り返しながら、筋道を立てて物事を予想し、動かす力、つまり論理的思考力を伸ばすことを目的に、基礎的なブロックプログラミングやロボットの自動制御などをたのしく学びます。



Atama+ゼミ
(有料/月1日)

全国の塾などで導入が進むAI教材を使用する学習支援のゼミです。時間や場所を問わず、自分のペースで学習を進められます。月に一回、外部講師による個別面談も実施します。

PICK UP

放課後のバリエーション

本校のオリジナル専攻ゼミのうち、スキルアップ系のゼミを2つご紹介します。

グローバル進学ゼミ

ネイティブ教員を中心に、高い目標を持って英語力を伸ばします。中学卒業時には英検2級相当以上、高校卒業時には海外大学への進学が可能なレベルへと英語力を高め、国際的視野を広げます。

ゼミの目標

- 中学卒業時点までに CEFR B1 (英検 2 級相当) 以上に到達すること。
- 中高 6 年間で海外大学 (または高い英語力を要する国内大学) への入学を可能にする確かな英語力を高め、国際的な視野を広げること。

ゼミの内容

- 学藝コースの必修教科である「言語技術」と「英語」を効果的に連携させ、「聞く・読む・話す・書く」の4技能を伸ばします。
- AI などの最新テクノロジーを積極的に活用し、英語学習の効率を高めます。
- 海外大学進学に必要な知識や情報を得ると同時に、アカデミック・ライティングやパブリックスピーキングのスキルを身につけます。

開講スケジュール

月・水・木の放課後、または火・金・土の放課後 (各90分)

- 中学校、高等学校合同で行い、参加する生徒は中学生、高校生に関係なく、習熟度によって3つのレベルにクラス分けされます。
- 「月・水・木」「火・金・土」の各コースのうち、木曜日、土曜日は、ネイティブの教員とフリートークを行う「ランゲージ・テーブル」を開催します。
- 宿題が出される場合があります。

※活動曜日は 2026 年度の実績であり、変更の可能性があります。



プログラミングゼミ

理数系の教員を中心に、プログラミングを通じて論理的思考力を伸ばします。中学ではプログラミングの概念を楽しく学び、高校では企業とも連携し、ゼミで学んだスキルを活用して様々な課題を解決することにも挑戦します。

ゼミの目標

- 中学卒業時点までにプログラミングの概要、アルゴリズム、物を制御する仕組みを理解すること。
- 高校卒業時点までにプログラミング言語「Python」を習得すること。
- ゼミで学んだスキルを活用して、様々な課題を解決したり、制作物を発表すること。

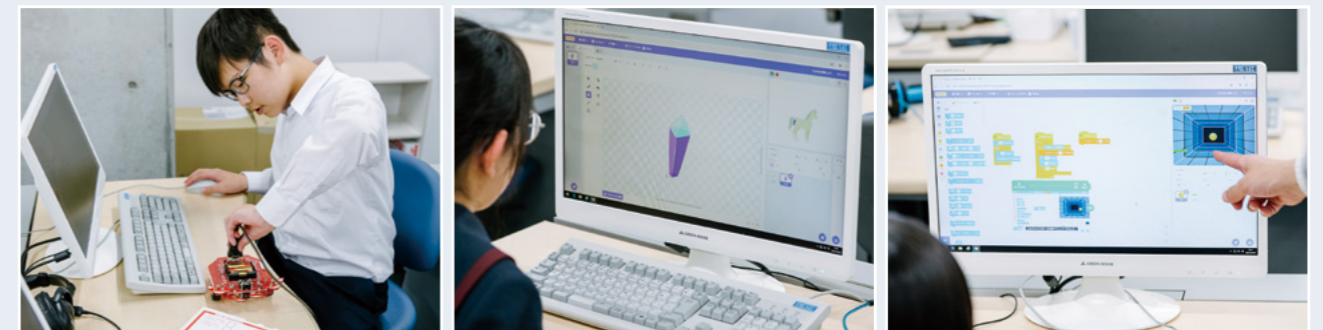
ゼミの内容

- ブロックプログラミングや自動制御ロボットのプログラミングを通じて、プログラミングの基礎を学びます。
- 外部の大会に出場する中で、チームで協同してプロジェクトに取り組む経験を積みまます。
- IT 企業と連携し、社会の様々な課題を解決するプロジェクトに参加します。

開講スケジュール

火・金・土の放課後 (90分)

※活動曜日は 2026 年度の実績であり、変更の可能性があります。



担当教職員



ショ ブライアン 先生

コロンビア大学にて工学の修士号を取得。卒業後、ウォール街やシリコンバレー勤務を経て来日。CLIL の専門家として、理数系の英語指導や教材執筆、教員研修を全国で展開。高度な専門知識で世界トップ大学への進学を導きます。



ワード マシュー 先生

ワシントン大学にてクリエイティブ・ライティング修士号、シアトル大学にて英語教授法 (TESOL) 修士号を取得。アメリカ、タイ、台湾でも教鞭をとった経験があり、国際社会で通用する英語力を授けます。



レービト イザベル 先生

アリゾナ州立大学で英文学を専攻。ユタ州で幼児向け語彙導入やフォニックス指導に従事。ネイティブ英語教材を活用したリーディングやリスニング指導を得意としており、実践的なアプローチで英語力向上をサポートします。



藤原 涼 (職員)

米国政府フルブライトの奨学生として米国の大学に勤務し、エディンバラ大学で言語教育学修士号を取得。世界各地を巡った知見と IELTS 8.5 の専門性を生かし、職員として試験対策から海外進学までをサポートします。

担当教員



担当講師の太田直見先生 (左/理科) と寺尾明人先生 (右/数学) が、初心者から経験者まで丁寧に指導します。高校の同系ゼミと連携しているので、6年かけてデータサイエンスのスキルを伸ばすことが可能です。



海外大学進学・国際教育プログラム

本校では、学校にいながら国際感覚を養う環境を整えるとともに、異文化の中で学ぶ機会を計画的に設け、多様な視点を育みます。さらに、将来の海外大学進学も視野に入れた、意欲ある生徒の挑戦を丁寧に支えています。

多文化交流プログラム



TOPICS

台湾の中学校と国際交流協定を結ぶ。

2025年12月、本校は台湾・台南市の新東國民中学校と国際交流協定を結びました。オンラインで交流したり、実際に両校の生徒が行き来したりすることで、定期的な国際交流を実施します。2026年3月には初回の交流が実施され、本校の中学校1～3年生までの39名が、4日間の「台湾研修」に参加。新東國民中学校を訪問して英語でのプレゼンテーションを行ったり、台湾の歴史や文化に触れたりしました。今後も本校では、国際交流、海外研修、海外留学の機会や、海外大学進学へのサポート、海外校との姉妹校提携などを毎年拡充してまいります。

海外大学進学プログラム

1. 世界40大学への入学が保証される「U.S. Dual Diploma Program」。



当プログラムは、アメリカ東部の名門進学校である、「プロビデンス・カントリー・デイスクール」と提携し、本校に通いながら2年間、放課後の校内や自宅でオンラインのライブ授業を受講し、セルフスタディーを進めるものです。プログラムを修了すれば、履正社高校卒業時に、本校卒業証書に加えて米国の高校卒業証書も授与され、アメリカ・イギリス・カナダ・オーストラリアなどの計40大学(各国の大学ランキング上位2～15%)への推薦入学が100%保証されます。条件を満たせば最低1万ドルの給付型奨学金を得ての米国大学進学も可能になるほか、国内大学の総合型選抜入試でも有利となる上に、「帰国子女枠」での受験も可能になることから、進路の選択肢が国内外で大きく拡がるのが期待されます。

毎年3回(5月、9月、1月)のスタート時期が設けられており、中学校の学藝コースに在籍する生徒は中学校3年生から、高校から本校に入学した生徒は高校1年生からプログラムに参加することができます(高校3年の4月でプログラム修了)。受講には英検2級以上の英語力が必要ですが、準2級、3級の力があれば「準備コース」から始めることもできます。

2. マレーシア9大学と協定を交わす。



2024年、本校はマレーシアの9大学と協定を交わしました。マレーシアは学費が日本の半分程度、欧米の3分の1程度と安価である一方、国際化の達成度や教育水準が非常に高いことから、進学先として近年国際的に注目を集めています。本校では学術基盤センターの「国際教育部門」と進路指導部の連携のもと、マレーシアも含めた海外への進路を検討する生徒を対象に「海外大学進学説明会」を定期的に開催する予定です。

U.S. Dual Diploma Program

履正社で、日米の高卒資格を取得する。

「U.S. Dual Diploma Program」(DDP)は、履正社中学校・高等学校に通学しながら、米国の高校のプログラムをオンラインで2年間履修し、日米の高校卒業資格を取得するプログラムです。世界40大学への推薦入学が保証されます。本校を卒業するため、国内大学の受験も可能。海外と国内の両方を進路先を選ぶことがメリットです。



日米高校卒業資格取得の仕組み

履正社中・高の履修単位*

- 社会系 2科目
- 理科系 2科目
- 国語系 3科目
- 数学系 3科目
- 英語系 3科目
- 体育系 1科目
- 芸術系 1科目



米国プロビデンス・カントリー・デイスクールの履修単位(10科目、5単位)**

- 科目1 : 海洋学(0.5単位)
- 科目2 : メディアとコミュニケーション(0.5単位)
- 科目3 : 再生可能エネルギー(0.5単位)
- 科目4 : 芸術鑑賞教育(0.5単位)
- 科目5 : 音楽鑑賞教育(0.5単位)
- 科目6 : ビジネス学入門(0.5単位)
- 科目7 : 英文学と英語表現 A(0.5単位)
- 科目8 : 英文学と英語表現 B(0.5単位)
- 科目9 : 世界史 A(0.5単位)
- 科目10 : 世界史 B(0.5単位)

*中学3年から高校3年までの計4年間の履修科目から単位認定します。単位認定には、各科目5段階評価で3以上の成績値が必要です。また、本校では学藝コースの生徒のみが対象となります。

**原則、科目1から順番に履修します。
※各科目の成績は、提出課題&テスト&学習態度/意欲の総合評価(4.0満点)で評価されます。

プロビデンス・カントリー・デイスクール(PCD)高校卒業証

PCD 高校卒業証は、履正社高校卒業時(3月)に授与されます。

受講生の声

※インタビュー内容は取材時のものです



星野理紗さん
高校学藝コース2年

DDPがあるから履正社に決めました。

——DDPに参加した理由を教えてください。
「私は元々英語が大好きで、『英語で何かを学びたい』という気持ちが強かったんです。入学前、母がこのプログラムを見つけてくれて、親子で『ここだ!』と」
——DDPではどんなことを学習をしていますか?
「週2回、オンラインのライブ授業があり、それに向けたセルフスタディーをオンライン教材で進めます。提出課題や試験もたくさんあります。2年間のうち1年が過ぎて、今のところ成績はオールAが取れています」
——ライブ授業はどんな様子ですか?
「授業は全部英語で、日本各地の中3～高3までの生

徒が20人弱参加しています。みんなで話し合ったり、英語で発表したり。眠そうにしていたらすぐに当てられるので、気を抜くことができません笑」
——DDPを通じて身についたことは何ですか?
「プレゼン力です。もう何回やったか覚えていないくらい、やりました。日本の学校だと、プレゼンをする機会は多くても年に数回だと思いますが、DDPでは英語で、専門的な内容を、他の人が理解しやすい形で何度もプレゼンしなければなりません。あとは漫画を作ったり、AIを使って音楽を生成したり……。授業は本当に楽しくて、参加して本当に良かったと思います」
——将来の夢は何ですか?
「国際的な活動をする職業に就きたいと思っています。DDPはそのための土台を作る場になっています」

探究・キャリアデザイン

探究プログラム



STAR WATCHING

理科部の生徒と教職員が主体となり、大学生や社会人の団体と共に運営する関西最大級の天体観測会です。毎回約600名の参加者を迎え、30台もの大型望遠鏡がグラウンドに並びます。科学への関心と探究心を深める貴重な学びの場となっています。



サイエンスツアー

JAXA筑波宇宙科学センター、京都大学白浜水族館、大阪大学核物理研究センター、にしわか経緯度地球科学館、SPRING-8などの研究施設を訪問する予定です。実際の研究現場を訪れることで、科学への興味関心を深めます。



国立大学キャンパスツアー

2年次に国立大学キャンパスツアーを実施します(京都大学や大阪大学など)。大学教授から研究内容や学部について直接話を聞くことで、現在積み重ねている学習が、将来どのようにつながるのかを具体的に理解します。



東京大学金曜特別講座

東京大学教養学部が主催する「高校生と大学生のための金曜特別講座」は、毎年度、夏学期と冬学期の2期、開催されるオンライン講座です。東京大学の教員による専門性の高い講義を受講することで、文理や科目の枠を超えた知的好奇心を育むことができます。



履正社中学校新聞

生徒がチームを組み、企画から取材、執筆、撮影にいたるまでの全工程を担い、中学校新聞を制作しています。「言語技術教育」で育んだ言語運用力を生かし、産経新聞社の協力のもと、丁寧な指導を受けながら取り組みます。



コーポレートアクセス

企業のインターンを教室で体験します。働く意義や経済活動について、早い段階から理解を深めるとともに、将来のキャリア意識を育成します。実践的な課題に取り組む中で、主体性や創造性を養うとともに、働くことへの理解を深めます。

本校は生徒一人ひとりの「心に火をつける」教育を行っています。学びの先にある景色を思い描けるよう、さまざまな探究プログラムや体験、社会で活躍する先輩方との出会いを通して、まだ知らない広い世界へ、学びのヒントを見つけに行きます。

6年間のキャリアデザイン

教育段階に応じたキャリア指導

中高一貫教育のメリットは、高校受験にとらわれることなく将来をじっくり考えられる点にあります。本校では中学3年間で、段階的に成長を支える探究・キャリア教育の期間と位置づけています。個別面談による丁寧な関わりを軸に、社会体験や大学との接点を設けながら、生徒一人ひとりの関心や適性を見極め、次の進路へと無理なくつなげていきます。

- 中学1年:** 自己理解と他者尊重を深めながら、将来へとつながる自立心と社会性の基礎を育みます。
- 中学2年:** 自己の強みを把握し、将来の目標達成に向けた課題や、必要な取り組みを考え、理解します。
- 中学3年:** 目標達成のために困難の克服方法を検討し、社会の一員としての役割と責任も理解します。
- 高校1年:** 大学訪問などで得た多様な情報や、自らの適性や関心を鑑みて文理選択を行います。
- 高校2年:** 多様な入試制度の仕組みを正しく理解し、見通しをもって志望校を選定します。
- 高校3年:** 志望校合格を目標に、計画的に学習を積み重ね、最後まで粘り強く努力を継続します。

生徒の心に火をつけたい。

日本を代表する自然科学の研究施設や、国立大学の見学、国内最大級の天体観測会のサポートなど、履正社では多種多様な探究プログラムを推進しています。昨年度より本校の入試科目に追加された社会科の先生たちは、探究をどのように捉え、どんな生徒に入学してほしいと考えているのか。座談会形式で話し合ってもらいました。



社会科
河本健斗先生



社会科
小林亮介先生



社会科
和田智博先生

探究とは、「考え方」を学ぶこと。

和田 履正社中学校でも今、探究が大きなテーマになっていますよね。

河本 そうですね。学藝コースを中心に、活動を取り入れています。たとえば「履正社中学校新聞」は、生徒たちがテーマを決め、取材から記事化まで取り組むという形で実施しました。

小林 生徒自身が「伝えたいこと」を見つけ、それを言語化する力が育ちますね。

河本 履正社の特色である「言語技術教育」(p.10)も生きています。自分の考えを論理的に構築し、表現できるようになる。それが探究の第一歩だと思います。

和田 私は、探究にはある程度の知識の蓄積も必要だと感じています。知識があってこそ、深く掘り下げて考えることができる。「探究のための探究」をさせることは避けたいですね。

小林 一方で、予想以上に生徒たちが面白がることもあるのも事実ですね。プレゼン大会などをやると、「学期ごとにやってほしい!」という声があがったり。クエストカップや地域連携、キャリア学習など、段階を踏みながら自分の将来像を探るような内容を入れて、大学の総合型選抜入試にまでつなげるのが一般的な探究のあり方かなと思っています。

和田 私は、「探究」の時間もいいのですが、各教科の中でこそ探究学習を盛り込めたいなと考えています。社会には社会、理科には理科の探究の仕方、方法があると思うので。

河本 そうですね。私もよく「僕たちは『歴史で

学ぶ』をやりましょう」と言います。毎回、授業の冒頭にメインクエスチョン一つ、生徒たちに与えるんですが、たとえば「四千年前の人に何を手渡したら一番喜ぶと思う?」というような発問です。

小林 生徒たちの反応は?

河本 学習前の生徒たちは「スマホ」とか「車」とか、色々言います。根拠はあまりありません。ところが、学習後にもう一回同じ問いを投げかけると、「当時の人はこういう農業をしていたから、これを渡したら喜ぶに違いない」とか、「当時の都市はこういう都市だったから、これなら喜ばれるだろう」というふうになる。歴史的な文脈を踏まえて、根拠を持って答えられるわけです。これが「歴史で学ぶ」という意味なんだよ、ということをやっています。

和田 「何を学ぶのか」ではなく、「社会科を通じてどのように考えるか」が本質ですね。

河本 そうですね。探究って、情報の入手方法や選び方・活用の仕方を学んで、実社会で役立つ思考力や問題解決力を養うこと。生徒たちには、自分の「考え方」を学ぶために社会を使ってくれたらいいし、それは中高一貫であるからこそできることでもあるのかなと。

すごく探究的で、素晴らしい授業。

小林 その際、どの程度の範囲の中で探究させるかという設定の仕方は、各先生の腕の見せ所

です。それこそ知識も考え方も身につけていない生徒たちに、あまり自由にさせすぎても、何をやっていいかわからなくなるでしょう。

和田 小さい時の習い事も、親に色々チャレンジさせてもらったことをきっかけに、「もっとやりたい」という探究心が生まれることも多いと思うんです。ある程度、教員がテーマを持たせてあげることは大事なかなと思いますね。

河本 学校では、教科や科目自体がテーマでもあって、たとえば先日、体育の授業で生徒たちがワークシートを使って、「どうやったら速く走れるのか」というシンプルな問いに取り組んでいました。「速く走れる人はどのようにスタートしているか」「どんな角度で走っているか」「何歩で走ったか」などの観点がでていて、すごく探究的だなと思いましたね。客観的に自分を見て、他者の実践を見て、「どうすればいいのか」と問いを立てた上で、「こうかもしれない」と仮説を立てて検証する。素晴らしい授業でした。

和田 歴史で言うと、年号の語呂合わせなども探究的ですね。暗記という壁を乗り越えるにあたって、どう工夫するか。

河本 自分で工夫して考えた語呂合わせは、くだらなくても一生忘れませんからね(笑)。

小林 本当にそう思います。最低限の知識があることはもちろんですが、そういう思考力を持って探究できる生徒さんたちに、ぜひ履正社の社会の試験を受けてほしい。そういう思いで、入試問題の準備を進めていきたいですね。



STAR WATCHING

スターウォッチング レポート

履正社中学校の約半数の生徒が在籍する理科部。その理科部の活動の中でも、異彩を放っているのが「スターウォッチング」と呼ばれるイベントです。この関西最大級の天体観測会を取り上げた読売新聞オンラインの記事を一部加筆して再録し、ご紹介します。

さっきまで入り口や受付、案内を担当していた理科部の生徒たちだ。ホールの前方のステージには11台の天体望遠鏡が並べられている。

校長先生が壇上から「1年かけて準備してきましたが、雨なので『星の夕べ』で楽しみましょう」とあいさつ。続いて中学理科担当の平賀英児先生がマイクを握り、天体の解説を始めた。ステージいっぱいの大きなスクリーンに、リアルタイムの星空シミュレーションが映し出された。

「金星、木星、土星が三つ並ぶのは珍しいのですが、15年ぶりに接近した火星も加えて四つ並ぶのは大変珍しい」

「天気が良いれば天体望遠鏡で見えるはずだった木星は、地球の11倍もの大きさです。模様があります。ズームアップして見てみましょう」

と平賀先生が解説を続ける。晴れていれば、人工芝のグラウンドに場所を移して22台の天体望遠鏡で実際の夜空を観測するプログラムだったが、室内でスクリーンを使っただけの観賞には、資料画像を自由自在に使えるメリットがある。

「白鳥座のアルビレオは一つの星に見えますが二つの星からできています」

「土星には輪があります。土星は裏からだとう見えるのでしょうか」
平賀先生の繰り出す天体の知識や映像美に、会場は引き込まれるように静かだったが、平賀先生が「大きな声で『おー』と驚いてリアクションをお願いします」と声をかけると、会場からは「おー」という大きな声が返ってきて拍手が巻き起こり、一転なごやかな空気に

履正社中学校(大阪府豊中市)は9月29日、天体観測会「STAR WATCHING」を開催した。台風の接近で小雨ちらつく天気となり、星の観測はかなわなかったが、「雨に負けない! 履正社『星の夕べ』」と題した屋内の催しに切り替え、参加した地域の小学生や受験生ら228人とともにスクリーンの星空やクイズを楽しんだ。

雨天でも親子連れで埋まる記念ホール。

天体観測会「STAR WATCHING」が予定された9月29日、台風24号の接近で大阪も朝から小雨がちらつく空模様となった。それでも、午後5時半の開催に先立って明るいうちに履正社の正門に向かうと、中学生たちが並んで、「こんにちは」という明るいあいさつで出迎えてくれた。

完成したばかりの新校舎に通されて受け付けをすると、天体写真のポストカードがプレゼントされ、会場となった2階の記念ホールに案内された。意外なことに中の席は既に200人を超える親子連れで埋まっている。今年は悪天候が予想されたため、事前に雨天などの場合は「雨に負けない! 履正社『星の夕べ』」と題し、同ホールで、美しい天体写真を楽しんだり、天体写真のプレゼントがあったりすると学校側が告知していたからだろう。

開始時刻になると、中学生らが整列してホールに入場してきた。



ホールのステージには11台の天体望遠鏡が並ぶ(左) 天体観測会の企画運営を担当する理科の平賀英児先生(中央) 履正社の卒業生で神戸大学天文研究会に所属する二人(右)

変わった。

兄の話を聞いて履正社の理科部に入部。

この日は天体以外の写真も紹介された。平賀先生が北海道や岩手、沖縄など全国各地で観測し、撮影した自然や動物の写真だ。鯨がジャンプする瞬間の迫力ある姿や、エゾリスのアップがスクリーンに広がるたび、「おー」「かわいい」などの声が上がった。

中学生のさまざまなシーンを捉えた写真も数々披露された。北海道への修学旅行でスキーを楽しんだり、木を削ってオリジナルペンダントを作ったりする生徒たちの姿が次々映し出される。「これはキャンプファイヤーですが、勢いが良すぎて火柱のようですね」など、平賀先生が軽妙な解説を加えると客席から明るい笑いがこぼれた。

この日の観測会を準備し、「星の夕べ」をサポートした理科部の紹介もあった。理科部は生徒に人気の部活動で、在校生の約半数が部員として活動しているほど。天体観測会は理科部の中から希望者を募って50人あまりが準備と運営に携わったという。案内役を務めた中学3年生の實業音さんは中学受験のため星の勉強をしたのがきっかけで天体好きになり、理科部に入部したという。中学1年生の田中千景さんは小学生のとき、履正社で学ぶ兄から、理科部の合宿で採取した鉱石を見せてもらって話を聞き、自分も理科部に入部すると決めたそうだ。

部員数が多いので、学年ごと、テーマごとに活動や合宿を行っていて、雪原での天体観測もあれば、生野銀山での金銀採取体験など理科部の活動は幅広い。

神戸大学天文研究会の先輩があいさつを。

その後、神戸大学天文研究会の大学生が登壇した。天体観測会は、神戸大学と地域の天文ファンの会のサポートで開催している。神戸大学3年生の平田俊輝さんは中学高校6年間を履正社で学んだ卒業生だ。「中学1年生のとき、第1回の天体観測会がありました。そのとき、神戸大学のお兄さん、お姉さんの話を聞き、神戸大学に進学して天文研究会に入れたらいいなと思い、第一志望にして勉強しました。中学生のみなさん。神戸大学に入って、僕の後輩になっ

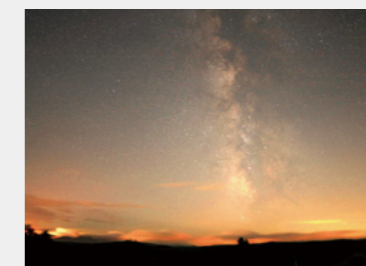
てください」と呼びかけた。

会も終わりに近づき、お楽しみクイズも行われた。会場の全員が起立して、クイズに答え、正解者が残っていく。「スピカという星の名前の意味は真珠か小麦の穂か」といった難問に小学生たちも懸命に答えていく。

勝ち残った正解者約10人には、月面ポスターや大判の天体写真などの賞品が渡され、「また、来年会いましょう」という言葉とともに会には締めくくられた。

参加した男子児童は「天体に興味があって来たのですが、中学生になったらどんなことが待っているのかわかり、中学生になるのが楽しみになりました」と目を輝かせていた。

人生の豊かさを感じてほしい。



天の川を染める夕陽。こんな光景を観るのも理科部の合宿の醍醐味だ

「間もなく創立100年、豊中の地で50年余りの歴史のある古い学校ですから、星をきっかけにもっと地域と関わりたいと始めました」と平賀先生は話した。天体観測会は、理科教員だけでなく学校全体で取り組んで

いる。実施にあたっては天体望遠鏡の操作に詳しい専門家も必要だが、幸い同校にはそうした教員が何人もおり、「星くらぶM57」や神戸大学天文研究会などの協力も得ることができている。

年1回、この時期の開催で今年8回目となる。地域の小学校にポスターやチラシで案内し、学校説明会でも告知している。「履正社の天体観測会は楽しい」と口コミも広がっていて、毎回、定員はすぐ埋まるという。

「本校は進学校ですが、先に目指すものが見えないまま勉強することは、生徒にとってなかなかつらいものです。偏差値をにらんでも、やる気が生まれにくい。中学生のうちに大学生と触れ合うことや、自然観察をはじめとした楽しい体験を級友とたくさんすることで人生の豊かさを感じてもらえたら、大学受験の乗り越え方が少し違うものになると思います」と平賀先生は語った。

※データは取材時点のものです。

Close Up

在校生インタビュー①

学藝コース 2年

T.Aさん



Close Up

在校生インタビュー②

学藝コース 2年

U.Dさん



初めて知る、学ぶ「たのしさ」。

——履正社の第一印象を教えてください。

「学校説明会に来た時、平賀先生が話しておられたのですが「面白い先生やな」と思って聞いていました。マグマが冷え固まってできた、キラキラした宝石のようなものも見せてくれたり、ロケットを作ったり。夏合宿の様子も楽しそうでした。ここで授業を受けるイメージが持てたのを覚えています。新しく綺麗な校舎も印象的でしたし、私は食べるのが好きなので、食堂のメニューも美味しそうと思って。ここに通いたいと思いました」

——授業中はどんな雰囲気ですか？

「中学受験の時、数学でつまづいたところがありました。なぜそうなるのかを知りたいのに、その時は、公式を覚えるだけで終わってしまっ……。履正社の先生が、授業で丁寧に解説してくれた時は、感動しました。社会も暗記科目という苦手意識がありましたが、先生の語りやエピソードが面白すぎて、楽しく学んでいます。みんなもやる気で、社会の平均点だけいつも高いぐらいです。先生たちが、私たちの学ぶ意欲を引き出してくれています」

小さな積み重ねを大切にしたい。

——何をして過ごす時間が好きですか？

「ゲーム、漫画、イラストです。父の趣味もあり、『SLAM DUNK』や『ドラ

ゴンボール』など家には大量の漫画があります。『UNDERTALE』『チェンソーマン』『鬼滅の刃』、最近は『ブルーロック』にはまっています。クラスの友だちとも盛り上がりますね。読むだけでなく、二次創作といって原作のキャラクターでオリジナルの話や別エピソードを考えたりするのも好きですし、暇さえあれば漫画の登場人物や自分で考えたキャラクターをタブレットに描いています。近々『色彩検定』も挑戦してみたいです」

——何かクラブ活動はしていますか？

「バスケットボールをやってみたくて、入部しました。すごく疲れるけど、その分とても楽しいです。ゲーム中にシュートが入ったり、パスやアシストがうまくつながる時が嬉しいです。コート上では、先生ではなく自分たちが中心にならなければいけません。『リバウンド!』など声出しを意識し、チームワークを大切にしています。今、女子の人数が少ないので次はたくさん入部してほしいです。皆さん、お待ちしております!笑」

——これから頑張りたいと思っていることはありますか？

「勉強ですね。3年生になると、国語、英語、数学の3教科は成績順に分けられて授業が進みます。理科と社会は、わりと安定して点を取っていますが、他の教科はもう少し力を入れたいと……。特に英語は頑張りたいです。今は毎朝8時前に学校に着いて、早朝テストの勉強をしています。漢字や英単語、計算問題が出題されるテストです。以前は点数に波がありましたが、学習のコツが分かり安定するようになりました。こうした小さな積み重ねを大事にしていきたいです」

学校で身につける、確かな力。

——入学前、履正社はどんな印象でしたか？

「小学5年生と6年生の時に、スターウォッチング(p.20)に参加しました。望遠鏡の大きさに驚いたこと、そしてその望遠鏡で土星を観測したことが印象的です。土星に環があることは知っていましたが、実際に見るのは初めてでした。『自分の目で』見ていることにすごく感動したのを覚えています。また、体験授業も受けましたが、先生と生徒との距離感がとても近く、雰囲気の良さを感じました。あとは「言語技術教育」について気になっていました」

——入学してから、毎週「言語技術」の授業を受けていますよね。実際に学んでみていかがですか？

「小学生の頃は作文を書くことが苦手で、いつも手が止まっていました。でも今は、1000字の文章もすらすらと書けます。主語を大切にすることや、文章の構造を考えるコツなどを教わったからです。絵や詩を読み解いたり、問答ゲームで楽しく学んだりしながら「聞く、話す、読む、書く」力を身につけています。また、先生や友だちとの会話の中でも、質問したり、話を繋げたりすることで、会話を広げられるようになりました。今養っている力は、将来色々な場面で役立つのではないかと感じています」

——学校生活でお気に入りの時間はありますか？

「昼休みです。4限が終わると急いでお弁当を食べて、すぐにグラウンドへ向かいます。そこでドッジボールをするんです。30分本気で汗だくなるまでやります。入学当初から自然にこの流れが生まれ、クラス関係なく楽しんでます。思いっきり遊んで、また午後のスイッチを入れる感じです」

入ってみてわかった履正社の強み。

——勉強はどのように進めていますか？

「塾には通わず、わからないところは先生に質問しています。あとは、専攻ゼミや早朝テストの勉強で学習習慣を身につけている感じです。専攻ゼミは5教科全てを受講していますが、一度国語を外した時は成績がすごく下がりました。でも取り直すとまた回復。ゼミは同じレベルの友だちと学べるし、先生が的確にポイントを伝えてくださるので、それがためになっているんだと思います。模試対策や解説も細かくて、先生の言ったところが本当に出題されることも度々でした。大学受験まであと4年、これまで通り学校で勉強を続けながら、自分の進路を考えていきたいです」

——今、力を入れて取り組んでいることは何ですか？

「軟式野球です。小学校まで特にスポーツ経験はなかったのですが、友だちに誘われ入部しました。3年生の引退後、同級生がキャプテンになり、練習メニューを顧問の先生に提案したり、声掛けを増やしたりする中で、チームの意識も段々と変わっていったんです。僕は週3日の練習のほか、平日朝6時から1時間ほど、自宅近くの公園で弟と練習します。休日は小学校の友だちと集まってプレーすることも。すっかり、野球に夢中です。昨年は初めて地区大会で優勝、大阪府でも3位になりました。高校でも継続して、もっとうまくなりたいです」

3ヵ年独立コース

教育の特色

難関高校への確かな進学実績で知られる3ヵ年独立コースは、40年にわたって独自のノウハウを蓄積してきました。高校受験を主眼とする本コースの強みを5つご紹介します。

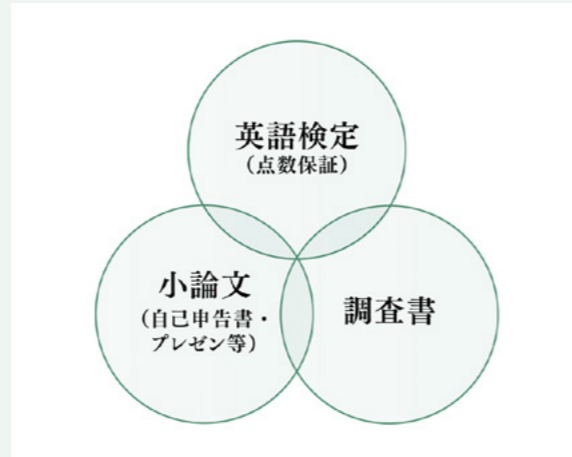
1. 関西でも数少ない独立コース

3ヵ年独立コースは、中学校卒業後に希望する外部の高校へ進学するためのコースです。「高校受験を有利に進めたい」「高校受験のノウハウのある学校があれば」という思いを受け、1985年に設立されました。以来、本校はそのニーズに応え、毎年ハイレベルな進路へと生徒たちを送り出してきました。



2. 難関高校入試を突破する独自メソッド

高校受験は短期決戦。そのレースを勝ち抜く秘訣は、「英語検定」「自己申告書」「プレゼンテーション」「調査書」で高ポイントを獲得すること。倍率の高い難関高校では、1点差に多くの受験生が集中します。合否を左右するその1点を積み重ねるメソッドを、生徒たちに伝えています。



3. 習熟度別の放課後進学講座

放課後は1コマ90分の講座が、標準クラス・発展クラスの習熟度別に関講されます。講座では、授業内容の復習や、応用問題への取り組みを通じ、志望校への進学を目指して学習を積み重ねます。1年生は国語・数学・英語の3教科、2～3年生は理科・社会を合わせた5教科を平日と土曜日に開講。複数教科の受講もできます。



4. 学習習慣を身につける「朝の活動」

毎日、8:30からの10分間は、早朝テストが行われます。英単語、漢字、数学の計算などを中心とした20点満点のテストで、事前にテスト範囲が発表されます。自学自習とテストの日々の積み重ねが、学習習慣を身につけることへとつながっています。



5. 大切にしているのは、緊張とゆとりのバランス

クラブ活動は運動系と文化系があり、約9割の生徒が参加しています。各クラブの活動時間が重ならなければ、「理科部とテニス部」のように兼部も可能です。学校行事も多彩で、ほぼ毎月、イベントがあります。勉強に集中する時間と、心身をリフレッシュする時間があることで、メリハリのある学校生活を送ることができます。



メッセージ



数学科
湯川 浩次 先生

生徒には、「本当に行きたいところ」へ進学してほしい。なぜなら、その学校で生きていくのは生徒本人だからです。志を同じくする仲間と出会い、競い合って学ぶ日々は、生徒たちの可能性を大きく広げてくれます。私たち教員は、受験対策を行うことはもちろん、学年全体で連携し、様々な角度から生徒一人ひとりをしっかりとサポートします。



3ヵ年独立コース 2年
S.K さん

履正社はクラブ活動が豊富で、僕は理科部とテニス部を兼部しています。理科部は巨大なシャボン玉やラムネ作りなど、化学変化を楽しむ実験が魅力です。授業は、受験に向けて進度が早いですが、丁寧でとてもわかりやすいです。将来の夢は、ロボットの開発に携わること。仲間と切磋琢磨できる環境が、学びの大きなモチベーションになっています。

Close Up

在校生インタビュー①



3ヵ年独立コース 2年
M.Nさん

どんどん挑戦する3年間。

——3ヵ年独立コースの雰囲気教えてください。

「クラスの雰囲気がとても良くて、毎日友だちと楽しく過ごしています。テスト前には自然と集中モードに切り替わる、そのメリハリも心地よいです。お互いに刺激しながら「次はもっと頑張ろう」と前向きな気持ちになれるクラスだと思います」

——受験勉強はどのように進めていますか？

「学校では、授業の他に課題の提出や模試対策の講座がしっかりあります。模試が近づくと過去問題がまとめて配られますが、先生たちは「ここはよく出る」「これは絶対覚えた方がいい」とポイントをはっきり教えてください。どこを頑張ればいいのかわかるので、気持ちも軽いです。受験を強く意識するというより、先生に導いてもらいながら目の前のことをクリアして、レベルを上げている感覚です」

——履正社の魅力は何ですか？

「勉強に集中できる環境と理科部があることです。理科部は週に一度、お昼休みに実験をします。それが面白そうだったのと、毎年開催される「スターウォッチング」(p.20)に惹かれて入部しました。イベント当日、部員は受付や誘導を担当するんです。運営スタッフは初めてでしたし、地域の方が600名ほど参加されるので、最初は緊張で固まっちゃって……。慣れてきてからは、自然と案内ができるようになりました。とても貴重な経験でした」

——印象的な授業はありますか？

「英語です。細かくかみ砕いて教えてくれるので、とてもわかりやす

いです。グループワークで、英語の文章を作ることもあります。どんどん引っ張ってくれる子がいたり、友だちの話を聞きながら「あ、そういうふうにするんだ」って気付きがいたり。得意な子も苦手な子も、それぞれのペースで関わって、お互いに理解を深められる授業だと思います」

できることを一つずつ。

——放課後はどのように過ごしていますか？

「週に2日塾に通って、苦手な数学と英語の検定対策に取り組んでいます。今の目標は英検準2級です。理科部に準1級に合格した先輩がいて、その姿を励みに頑張っています。あとは、9年続けているダンススクールに週1回通っています。その他の日は、自宅で授業の復習や早朝テストの勉強をします。大変な時もありますが、できることを一つずつ続けています」

——中学校で自分が変化したことはありますか？

「積極性が身につけてきたかなと感じます。これまで経験したことのないことや苦手なことにも、挑戦してみようと思えるようになりました。今はクラスの副委員長をしています。文化祭で何をするかを決めたり、体育祭に向けてクラスの意見をまとめたりするんです。人前に立つことにチャレンジしています」

Close Up

在校生インタビュー②



3ヵ年独立コース 2年
H.Rさん

「好き」を原動力に。

——なぜ、3ヵ年独立コースを選んだのですか？

「自分の夢を叶えるための『最短ルート』だと思ったからです。僕は、中学を卒業したら高等専門学校に進学して、機械工学を学びたいという目標があります。3ヵ年は進学講座など外部受験のサポートもとても手厚いです。また、同じように高い目標を持つ友だちと、一緒に頑張れるクラスの雰囲気も魅力的でした」

——どうして、機械工学に興味を湧いたのですか？

「小さい頃からずっと電車が好きで、家族であちこち見に出かけました。山の中へ廃線跡を見に行くこともありました。最初は、電車の形や色など、見た目のカッコよさに惹かれたのですが、小学4年生くらいから加速・減速時の『ウィーン』という独特なモーター音が、たまらなく好きになったんです。そこからモーター好きになりました」

——夢中になるポイントが変わったんですね。

「その頃、両親に勧められて高専のオープンスクールに参加しました。先輩たちが、車や電車に使われる大型モーターを扱ったり、3Dプリンターで金属加工を行ったりする姿がすごくカッコよかったです。色々な学科がありましたが、僕はここで機械工学を学びたいと思いました。将来は鉄道会社で、モーターの開発に携わることが目標です。音を抑える工夫や負荷を減らした走行、揺れを軽減する技術など研究したいなと思います」

——受験に向け、勉強にも力が入りますね。勉強でわからない時はどうしていますか？

「友だちに聞きますが、職員室にもよく質問へ行きます。先生が丁寧に対応して下さるので、安心して学べます。また、集中できる環境を見つけて、苦手な教科と向き合ううちに成績がぐっと伸びました。僕もやればできるんだと、自信ができました」

趣味を共有できる、仲間ができた。

——好きな科目は何ですか？

「社会と理科です。2年生の時、たまたま図書館で借りた歴史の本がとても面白くて、そこからハマりました。社会の授業では、教科書に載っていないような雑談を交えて教えてくれるので、自然と話に引き込まれます。理科も、ただ公式を暗記するのではなく、別の考え方もあると多角的な視点で教えてくれるんです。面白いですし、記憶に残るなと思います」

——学校生活の楽しみは何ですか？

「楽しみは『鉄道研究部』の活動です。2年生の夏合宿では、岡山県の津山まで遠征して、本物の機関車を見学したり、文化祭では巨大なプラレール展示を作ったり。趣味を共有できる友だちと過ごす時間は最高です。また、球技大会や文化祭、校外学習など、毎月のように行事があるのもいいところです。勉強が少しハードでも、リフレッシュしながら頑張れます」



[フォトギャラリー]
制服LOOK BOOK

着こなしのバリエーションが豊富な履正社の制服。
多彩なアイテムを組み合わせて、
自分らしいスタイルが楽しめます。



Club Activities

クラブ活動一覧



日々の小さな成長が、
「学ぶたのしさ」を育む時間。

クラブ活動は週3日の活動が基本となるので、その他の放課後プログラム(p.12)と掛け持ちすることが可能です。また、昼休みに活動する文化系と、放課後に活動する運動系を掛け持ちすることができるのも魅力です。クラブ活動に参加することで、「できない」が「できる」ようになる小さな成功体験を積み重ね、学ぶたのしさを主体的に求める姿勢を育てていきます。

文化系



理科部

昼休みの短時間で、驚くような実験や観察を行います。秋には「STAR WATCHING」を主催し、600名を超える参加者がグラウンドに集まって天体観測を楽しみます。夏合宿もあり、好奇心の芽を育てます。



鉄道研究部

乗り鉄、撮り鉄など、鉄道好きは大歓迎。顧問が提案する旅行案をもとに、部員で話し合っってルート計画を立てたりと、楽しく活動しています。同じ「好き」を共有する仲間と充実した時間を過ごしましょう。



読書部

自分が読んだ本の感想や、仲間におすすめの本をお互いに紹介します。年1回ほど、ドラマや映画などを全員で鑑賞することもあります。本好きはもちろん、漫画やアニメなどが好きな人も大歓迎です。



かるた部

他校との交流試合や、年1回の大阪大学主催の百人一首大会に向けて練習をしています。練習を重ねるたびにレベルアップができるだけでなく、国語の勉強にも役立ちます。

運動系



サッカー部

経験の有無や性別は問わず、サッカーに興味のある人なら誰でも歓迎します。活動場所は2023年に新設した人工芝の校内グラウンド。ミニコートでのゲームやフットサルを通じて、技術を高めます。



軟式野球部

「打つ」「投げる」「捕る」の基礎練習や紅白戦を行い、技術を高めています。練習を通じて高めたいのは、「工夫する力」と「継続する力」。初心者も多いので、お互いに協力し合っって練習しています。



陸上競技部

走るのが苦手な人も大歓迎。楽しく走ることを目指しましょう。春から秋は、長距離と短距離に分かれて練習、冬は学校のマラソン大会に向けて走り込みます。履正社高校の陸上競技部との合同練習もあります。



硬式テニス部

基礎練習や紅白戦を行い、技術の向上を目指します。校舎の目の前にあるテニスコートで、初心者も経験者も一緒にテニスをたのしんでいます。部員数が多いので、仲間とかかわる機会が豊富なことも魅力です。



男女バスケットボール部

男女混合で練習を行います。練習量は多めですが、「協創・競創」を方針に掲げて文武両道を目指し、お互いに切磋琢磨して技術を高めています。チーム一丸で試合に挑み、勝利したときの喜びは格別です。



卓球部

学年に関係なく、部員同士の仲がいいのが部の魅力です。卓球は、体力に自信のない人でも楽しむことができます。「勉強を頑張る卓球部」というスローガンを掲げて、文武両道を目指して活動しています。



女子バレーボール部

初心者も多いので、経験がない人もバレーボールに親しめるような練習メニューを用意しています。学年に関係なく、一人ひとりが部を盛り上げる雰囲気が出ていて、たのしみながら練習に励んでいます。



空手部

性別に関係なく初心者も有段者も集まって、極真空手(フルコンタクト空手)を中心に空手に親しんでいます。礼儀作法、型、組手、ミット練習などの練習を積み重ねることで、心も身体も鍛えられます。

Events Calender

年間イベント

「イベントの履正社」と呼ばれるほどの、多彩な行事。
4月から3月までのすべてがオンシーズンです。
心身両面が活性化される学校生活があなたを待っています。

<p>4月</p> <p>入学式 1学期始業式 健康診断、オリエンテーション(1年) 避難訓練 校外学習 ベネッセテスト(1年/学藝コース2、3年) 全国学力/学習状況調査(3年) スポーツテスト(2年)</p>	<p>6月</p> <p>駿台テスト(3ヵ年独立コース2、3年) 英語検定 数学検定 授業参観 五ツ木テスト(3ヵ年独立コース3年) 人権学習 学年合宿(1年) 球技大会</p>
<p>5月</p> <p>ニュースポーツ大会 中間試験 学年保護者会</p>	<p>7月</p> <p>期末試験 漢字検定 個別懇談 1学期終業式 夏休み前期進学講座 来校イベント特別会 授業サポート</p>
<p>8月</p> <p>夏休み後期進学講座 夏休みクラブ活動合宿</p>	<p>12月</p> <p>期末試験 個別懇談 2学期終業式 冬休み進学講座 ボランティア地域清掃活動(2年)</p>
<p>9月</p> <p>2学期始業式 文化祭 五ツ木テスト(3ヵ年独立コース) ベネッセテスト(学藝コース)</p>	<p>1月</p> <p>3学期始業式 私立高校入試対策講座(3ヵ年独立コース3年) 英語検定 ベネッセテスト(学藝コース)</p>
<p>10月</p> <p>運動会 英語検定 中間試験 五ツ木テスト(3ヵ年独立コース3年) ベネッセテスト(学藝コース) 避難訓練 国立大学キャンパスツアー</p>	<p>2月</p> <p>五ツ木テスト(3ヵ年独立コース) 漢字検定 高校入試対策講座(3ヵ年独立コース3年) 百人一首大会(1、2年) 私立高校入試 耐寒マラソン ダンス発表会(2年)</p>
<p>11月</p> <p>STAR WATCHING 授業参観(1、2年) 数学検定 歴史検定 駿台テスト(3ヵ年独立コース) 五ツ木テスト(3年) 学年保護者会 人権学習 校外学習(1、2年) 芸術鑑賞会</p>	<p>3月</p> <p>学年末試験 修学旅行(2年) 公立高校入試対策講座(3ヵ年独立コース3年) 公立高校入試 社会見学会(学藝コース3年) 卒業式 3学期終業式</p>

年間イベントの開催月は、年度によって変更になる場合がございます。



入学式

新しい学校生活に期待を膨らませる4月。これから同級生と多くの思い出をつくり、学びと挑戦を重ねていく第一歩を踏み出します。



芸術鑑賞会

芸術の機微に触れ、心を動かすことは人間形成に欠かせない活動のひとつです。舞台、演劇、映画、落語などを鑑賞し、生徒たちの感性を磨いていきます。

過去の実施プログラム	
2025年	演奏鑑賞「Fiesta〜灼熱のレディス・サルサ〜」
2024年	舞台鑑賞「セントラルジャズオーケストラ with マイケル・ジャクソン」
2023年	舞台鑑賞「中国雑技団」
2022年	卒業生記念公演「先輩から後輩へつなぐバトン」
2021年	映画鑑賞「ぼくらの七日間戦争」
2020年	映画鑑賞「コーチ・カーター」
2019年	舞台鑑賞「倭太鼓飛龍」
2018年	舞台鑑賞「中国雑技団」
2017年	歌劇鑑賞「那馬台の風」
2016年	落語鑑賞「落語鑑賞会」
2015年	舞台鑑賞「風の又三郎」
2014年	歌劇鑑賞「一夢庵風流記 前田慶次」
2013年	舞台鑑賞「講話とパフォーマンス」
2012年	落語鑑賞「怪談落語」



文化祭

クラスごとに意見を出し合い、演目を準備。ダンスや劇などを舞台上で披露します。3年生になると準備の段取りやクオリティも格段にアップします。



運動会

クラス対抗リレーや、数学の計算問題を解いて正解したらゴールできる「早朝テスト競争」など、誰もが楽しめる競技が豊富。勝って喜び、負けて学ぶドラマがあります。



STAR WATCHING

地域の小学生や保護者の方々と一緒に宇宙の神秘に触れ合うイベントです。30台近くの天体望遠鏡が校庭に並ぶ様子は圧巻。理科部の生徒が中心となって運営します。



校外学習

毎回内容を変えて行う履正社名物のひとつ「校外学習」は、笑顔と感動をテーマに、京都や兵庫、遠くは四国にまで足をのびています。



学年合宿(1年)

兵庫県北部の自然豊かな環境で実施。山や川などでの体験活動や共同生活を通して、クラスの一体感を育み、これから始まる中学生活への意識形成につなげます。



夏休みクラブ活動合宿

部活ごとに合宿先や内容はさまざまです。他校との交流試合や練習で汗を流す部もあれば、列車で四国を一周したり、史跡を訪れたりする部もあります。



ダンス発表会(2年)

曲、振付、構成はすべて生徒たち自身で考えて、意見を出し合いながら創作します。大会当日は投票で順位が決まるため、白熱のダンスバトルに。



修学旅行(2年)

沖縄本島で、学びを重視した体験プログラムを行います。滞在中は、地域の方々のご家庭で民泊を実施。人々との交流を図りながら郷土文化を学び、自身の価値観を広げます。



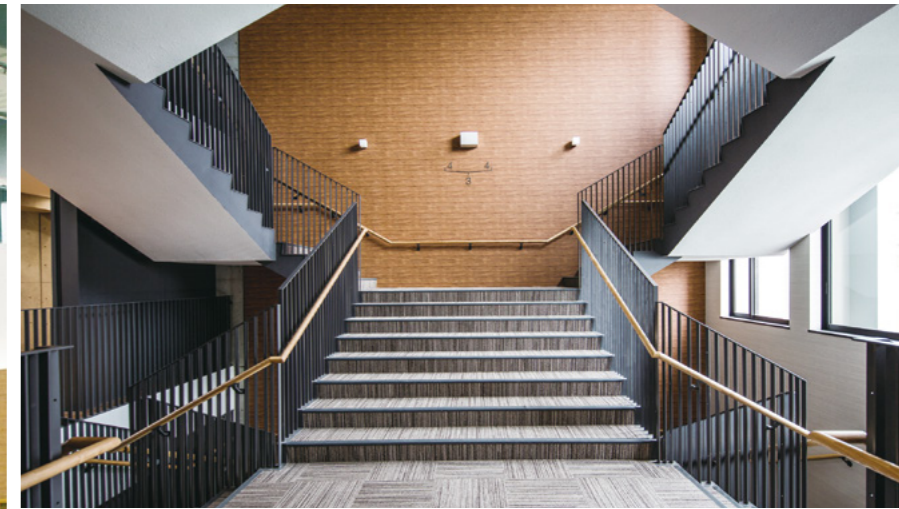
社会見学会(学藝コース3年)

最先端の科学技術や現実社会で起きている事象を肌で感じ取ることを目的に、大阪大学核物理研究センターや大阪地方裁判所などを訪れています。

※内容は一例であり、変更の可能性があります。

施設紹介

阪急電鉄、Osaka Metro、阪急バスなどでアクセスができる履正社の学び舎。2017年に竣工した校舎、総合体育館、広々とした人工芝グラウンドが生徒の健やかな成長をバックアップします。



横幅が広くとられた校舎の階段は左右対称の構造。回廊式のフロアをつなぎます

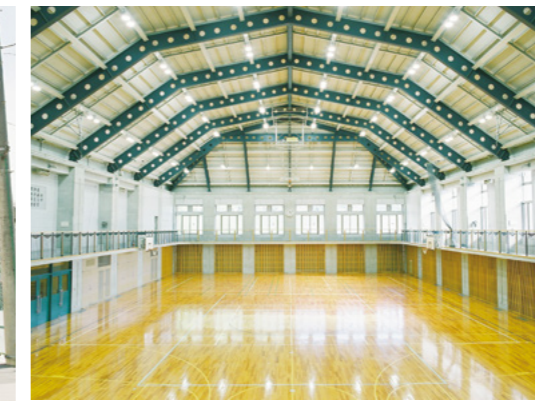
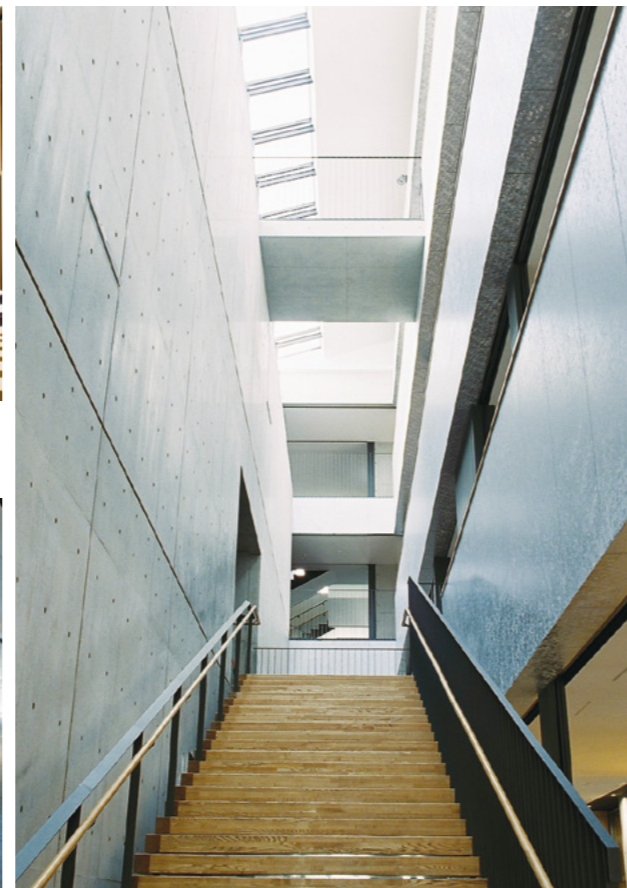


校舎の外装は白を基調としたクラシックなデザイン。左右対称で端正な佇まいの校舎は、周囲の緑との調和が図られています

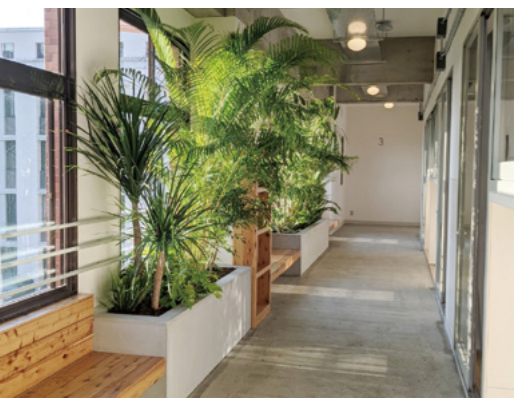
図書館や教室は天井が高く、窓からは自然光がたっぷり降り注ぐ設計です



校舎 2F の釜谷記念ホールは約500名を収容。学内行事や保護者会など様々な場面で活用されます



総合体育館棟にはアリーナのほか、柔道場、剣道場、トレーニングセンター、合宿ルームなどが備えられています



校舎以外の建物もリノベーションが進んでいます



茨木と箕面にあるグラウンドは野球場やサッカーグラウンド、ラグビー場、テニスコート、クラブハウスなどが整っています

進学先一覧

履正社中学校の3ヵ年独立コースからは、北野高校などの国公立高校、洛南高校などの私立高校へ。
履正社高校からは京都大学、大阪大学などの国公立大学や、関関同立などの私立大学へ。
直近3年分の主な合格実績を掲載しました。

3ヵ年独立コースの高校合格・進学実績(抜粋)

[国公立高校]

分類	高校名	2026年度入試		2025年度入試		2024年度入試		分類	高校名	2026年度入試		2025年度入試		2024年度入試	
		合格者数	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数			合格者数	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数
国立	大阪教育大学附属池田	1(1)	1(1)	4(2)	4(2)			大阪府立	刀根山	1(1)	1(1)				
	京都教育大学附属					1	1		東	1(1)	1(1)				
高専	明石高専	1	1			2	2	兵庫県立	箕面			2	2	2(1)	2(1)
	鳥羽商船	1	1						尼崎稲園	1(1)	1(1)	1	1	2	2
	奈良高専					1	1		尼崎北	1(1)	1(1)				
大阪府立	舞鶴高専	1(1)	1(1)					神戸市立	伊丹			1	1	2(2)	2(2)
	池田	1(1)	1(1)	1	1	1(1)	1(1)		川西緑台					1(1)	1(1)
	茨木(文理)					1(1)	1(1)		国					1(1)	1(1)
	桜和					1(1)	1(1)		宝塚北	1	1			1(1)	1(1)
	大手前(文理)					1	1		西宮宮	1	1	2	2		
	春日丘	2(2)	2(2)	2(1)	2(1)				西宮香風	1	1				
	北野(文理)	2(2)	2(2)	2(1)	2(1)	4(1)	4(1)		武庫荘総合			1	1		
	高津	1(1)	1(1)						葦合(国際)	1(1)	1(1)				
	桜塚			1(1)	1(1)	4(2)	4(2)		西宮宮	1	1	2(1)	2(1)	2(1)	2(1)
	千里					1(1)	1(1)		西宮東			2(2)	2(2)		
	豊島			1(1)	1(1)				柴野			1(1)	1(1)		
	豊中(文理)	3(1)	3(1)			3(3)	3(3)		合	計	22(14)	22(14)	23(10)	23(10)	31(17)

※校名は分類ごとに五十音順で掲載

[私立高校]

分類	高校名	2026年度入試		2025年度入試		2024年度入試		分類	高校名	2026年度入試		2025年度入試		2024年度入試	
		合格者数	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数			合格者数	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数
大阪	アサンクション国際	1	0			1	1	兵庫	啓明学院	1	1			1(1)	1(1)
	追手門学院大手前					1(1)	1(1)		神戸松蔭	1	0				
	大阪			1	0				甲南					1	1
	大阪学院大学					1	1		三田学園	2(1)	1(1)				
	大阪学芸			2(2)	0				須磨学園	1	0	3(2)	1(1)	3(1)	0
	大阪国際			3(2)	3(2)	1	1		灘			2	1		
	大阪女学院	1(1)	1(1)	1(1)					仁川学院	1(1)	0	3(1)	0	2	0
	大阪星光学院					1	0		雲雀丘学園	7(5)	4(2)	7(4)	3(1)	6(2)	2(1)
	大阪桐蔭			1	1	1(1)	1(1)		報徳学園			1	1		
	開明					1	0		武庫川女子	1(1)	1(1)				
	関西大倉	7(3)	3	4	2	4(3)	2(1)		京都聖母			1(1)	0		
	関西大学高等部			1	1	3	3		同志社国際	1	0				
	関西大学第一	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)	3(2)	3(2)	花園			1(1)	0			
	関西大学北陽			5	3	2(1)	2(1)	洛南	1	1			2	0	
	近畿大学附属	1(1)	1(1)	1	1	2(2)	1(1)	立命館	2	1	2	1	3(1)	2	
	四天王寺	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)	3(3)	2(2)	帝塚山			1(1)	0	3(3)	0	
	清風南海	1	1	1	0			西大和学園	5(4)	1(1)	7(2)	2	7(3)	1	
	大商学園	1	0					岡山関西	1	1					
	帝塚山学院(美術)	1(1)	1(1)					岡山白陵			1	0			
	同志社香里	1(1)	1(1)					慶應義塾	1	0					
	梅花					2(2)	0	慶應志木	1	1					
	箕面自由学園	1	0	9(1)	6(1)	6(2)	2	Bodwell High School(カナダ)	1(1)	1(1)					
	桃山学院	2(2)	1(1)	2	2	2(1)	1	モートンベイボイスカレッジ(豪)			1	1			
	履正社	11(6)	4(1)	23(9)	6(2)	19(10)	8(2)	N					1	1	
	早稲田大阪	1	1			2	1	大阪つくば開成			1(1)	1(1)			
	関西学院			1	1			高松中央			1	1			
近畿大学附属豊岡					1(1)	0	ヒューマンキャンパス						1	1	
合	計	60(32)	30(15)	93(33)	43(12)	86(40)	39(13)								

※校名は分類ごとに五十音順で掲載

履正社高校の大学(校)合格実績

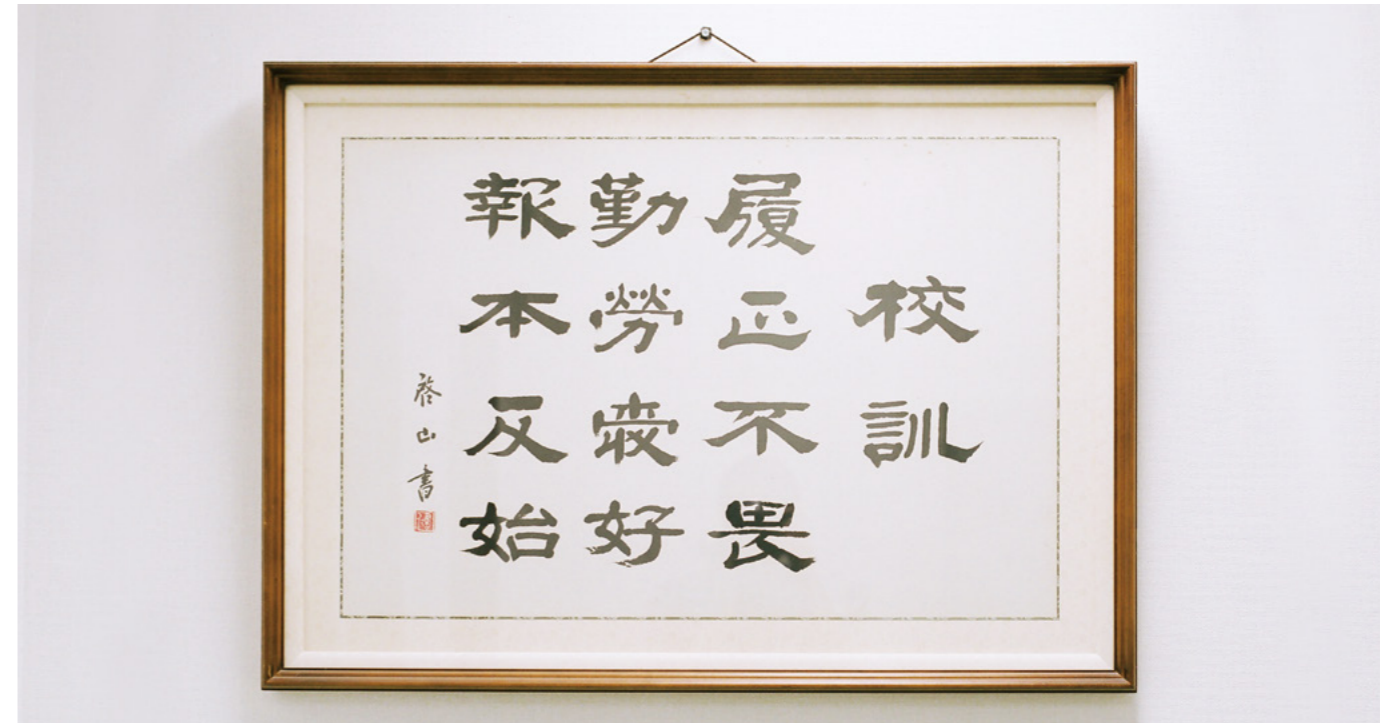
[国公立大学・大学校]

分類	大学名	学部名	合格者数			分類	大学名	学部名	合格者数			
			2026年度入試	2025年度入試	2024年度入試				2026年度入試	2025年度入試	2024年度入試	
旧帝大	京都大学	医(人間健康科)	1			その他 国立大学	山口大学	理	1			
		文	1					工			1	
	大阪大学	外国語		1			香川大学	医(医学)	1			
		医(看護)			2			法		1		
九州大学	工		1		佐賀大学		医(医学)	1				
	医(保健/看護学)		1				農			1		
難関 国公立大学	神戸大学	経済	1				その他 公立大学	北見工業大学	工	1		
		工		1					秋田大学	医(医学)	1	
	横浜国立大学	経営			1			山梨大学		工	1	
		文	1						信州大学	工		
		農	1					三重大学		医(医学)		1
		看護	1						滋賀大学	経	1	
		商	1			滋賀医科大学		医(看護)			1	
		現代システム科学域		1				奈良女子大学	工	1		
	経済		2	1	愛媛大学	工				1		
	理		2			鹿屋体育大学		体			1	
	法			2	釧路公立大学			経	1			
	広島大学	工	1					福井県立大学	海洋生物資源		1	
京都工芸繊維大学		工芸科学	1			滋賀県立大学	人間文化		1			
大阪教育大学	教育	4	2	1	京都府立大学		工			1		
	徳島大学	理工	2	1		2	京都府立大学	社会科	1			
和歌山大学	経済	2		1	兵庫県立大学	社会情報科		1				
	システム工		1			奈良県立大学	看護	1				
鳥取大学	医(保健)		1		山口県立大学		地域創造	1				
	工		1			防衛大学校	国際文化	1				
山口大学	農		1	1	水産大学校				3	1		
	経済	1				国公立大学・大学校合計		35	24	17		

[私立大学]

分類	大学名	合格者数			分類	大学名	合格者数			
		2026年度入試	2025年度入試	2024年度入試			2026年度入試	2025年度入試	2024年度入試	
早慶上理ICU	東京理科大学	1		1	京都	京都外国語大学	20	7		
		2					京都芸術大学	2		
GMARCH	青山学院大学	1	1			京都先端科学大学	3			
		1		1		京都橘大学	24	5	1	
		51	38	21		京都美術工芸大学	2			
関関同立	関西学院大学	87	56	32		佛教大学	35	3	10	
		27	7	9		神戸薬科大学		1		
		44	19	10		兵庫医科大学(薬含む)	3	3		
日東駒専	日本大学	2	1			奈良	天理大学	3	2	
		1	1	1				神奈川歯科大学(歯)	1	
産近甲龍	京都産業大学	146	80	55		関東	國學院大学		1	
		216	188	158				順天堂大学		3
		41	17	6	成蹊大学		1			
		85	55	18	千葉工業大学		1			
		321	106	70	帝京大学		2	1	1	
摂神追桃	神戸学院大学(薬含む)	71	55	27	東海大学				1	3
		456	149	108				東京農業大学		
		43	103	66	日本体育大学					
		3	2	4				武蔵大学		
		4	8		中京大学					
大阪	大阪音楽大学	1	4					その他	南山大学	
		3			環太平洋大学					
	35	22	24	立命館アジア太平洋大学						1
	29	45	23		京都女子大学				17	12
	1	1	3	同志社女子大学(薬含む)					6	8
	5	4	4		甲南女子大学				12	14
	6	6	6	神戸女学院大学					23	5
	30	24	17		武庫川女子大学(薬含む)				25	31
	1	11		テイラーズ大学(マレーシア)					1	
	38	31	21		ナイアガラ大学(アメリカ)				1	
	14	1		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ						1
	83	60	15		その他の大学<短大含む>			426	399	236
京都	大谷大学	19	6		私立大学合計	2482	1594	1015		

※校名は分類ごとに五十音順で掲載



履正社中学校・高等学校校長

篠岡 正和 SHINOOKA Masakazu

いっしょに「学びをたのしみ」しましょう。

2022年より履正社中学校は学びの在り方を刷新し、「学びをたのしめる生徒」の育成を目指しています。

幼少期からネット環境にあり、AI時代を生きる子どもたちは、正解のない世界を歩んでいます。そんな時代を乗り切るために必要な力は、学びをたのしむことによって培われます。

「学びをたのしむ」とは、ただ知識を教わるのではなく、何事も主体的に学ぶ姿勢であり、それらすべての学びを下支えするのが、履正社独自の「言語技術教育」です。

中学生は「将来、どのように生きたいのか」「何に貢献できるのか」といった、人生の問いを抱き始める時期です。その問いに対し「言語技術」の力を用いて論理的・批判的に分析・解釈し、自身の意見を言語化することで、次第に自分が大切にしたい価値観を形成していきます。

私たちは日々丁寧な指導を積み重ね、皆さんが個性を輝かせ、自らの人生を「しっかり、まっすぐ」力強く歩んでいけるよう、万全の体制で支えてまいります。

学校法人履正社 理事長

釜谷 等 KAMAYA Hitoshi

「あなたの成長が履正社の成長です。」

学校法人履正社は、2022年に創立100周年を迎えました。大正、昭和、平成、そして令和と続く激動の100年間を、「履正不 勤勞愛好」「勤勞愛好(きんろうあいこう)」「報本反始(ほうほんはんし)」の三箇条からなる「建学の精神」を旗印に掲げて、教育活動を一筋に続けて来ました。

本校では、生徒一人ひとりが、この「建学の精神」を心の拠りどころとして日々の生活を送り、もって社会に貢献出来る人物となれるように手助けしたいと考えています。

また、私たちは「環境が人を育てる」という信念をもっています。学力の伸長はもとより、人間性と社会性を涵養するとともに、公德心を自覚するようコーチングしていきます。

100年間をかけて磨き上げた教育システムが、キラ星の卒業生を輩出してきました。履正社はさらなる改善を繰り返し、これからも成長を続けていきます。

106回目の入学式で、あなたとお会いできることを楽しみにしています。

履正社の沿革



本学園の源流である「大阪府福島商業学校」は、1922年4月に大阪市北区福島(現・福島区)の仮校舎にて開校、授業を開始した。写真は翌年、西淀川区浦江町(現・福島区鷺洲)に竣工した新校舎。

- 1922(大正11)年 大阪府福島商業学校として北区福島にて創立
- 1940(昭和15)年 履正社中学校(旧制)を開校
- 1948(昭和23)年 学制改革により新制高校となる
- 1967(昭和42)年 豊中市長興寺南に移転完了
- 1970(昭和45)年 十三経理専門学校開校(～2001年) 履正会館完成・スイミングクラブ開設 校名を履正社高等学校と改称
- 1983(昭和58)年 履正社学園豊中中学校を開校(3ヵ年独立コース)
- 1985(昭和60)年 大阪秘書ビジネス専門学校開校
- 1988(昭和63)年 男女共学校に移行(6ヵ年特進コース新設)
- 2000(平成12)年 履正社茨木グラウンド竣工
- 2001(平成13)年 専門学校を履正社医療スポーツ専門学校と改称
- 2008(平成20)年 中高新校舎完成/履正社箕面グラウンド竣工
- 2017(平成29)年 第101回全国高等学校野球選手権大会 優勝
- 2019(令和 1)年 創立100周年
- 2022(令和 4)年 中学校の校名を履正社中学校と改称
- 2023(令和 5)年

履正社中学校 校歌

一、輝く緑 豊島の丘に

希望^{のぞみ}いだいて 集う学友^{とも}あり

生きる明日に 知を育んで

あゝ履正不 勤勞愛好 この精神を

履正社学園 履正社中学 わが母校

※ 全三番より一番のみ掲載

本学園の創立者、釜谷善藏が説いた建学の精神である校訓「履正不 勤勞愛好・報本反始」が、すべての教育活動の根源です。

履正不 勤勞愛好

自ら正しいと信ずることを、
何ものも畏れず
正々堂々と実践する。

勤勞愛好

勉学をたのしみ、
夢中になって物事にとりくむことが、
より良い未来につながる。

報本反始

自分の今があるのは縁ある人々
(ご家族や恩師)のお陰であることを自覚し、
その思いに報いるように行動する。

2027年度入試 学校説明会日程

最新情報はホームページをご覧ください。

- **第1回** 2026年 **5月16日** (土) 9:30~
- **第6回** 2026年 **8月23日** (日) 9:30~
- **第2回** 2026年 **5月30日** (土) 9:30~
- **第7回** 2026年 **9月 5日** (土) 9:30~
- **第3回** 2026年 **6月13日** (土) 9:30~
- ★ **第8回** 2026年 **10月 3日** (土) 9:00~
- **第4回** 2026年 **6月27日** (土) 9:30~
- ★ **第9回** 2026年 **11月 7日** (土) 9:00~
- **第5回** 2026年 **7月25日** (土) 9:00~
- ★ **第10回** 2026年 **12月 6日** (日) 9:00~

●…言語技術体験授業を実施 ■…夏休み特別体験授業を実施 ★…プレテスト同時開催

2027年度 プレテスト

6年生対象・本校にて

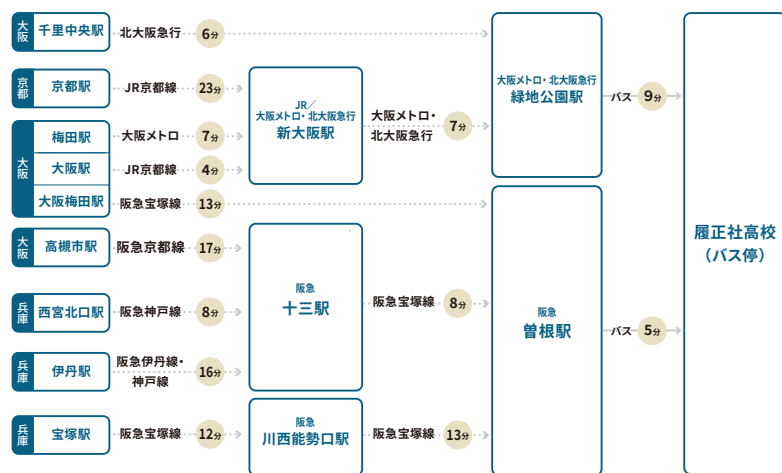
日程	第1回	第2回	第3回
	10月3日(土)	11月7日(土)	12月6日(日)

実施要項
6月中旬にホームページに掲載いたします。 ※別日に解答・解説会を行います。

個別相談

各種相談スタイルを自由にお選びいただけます。
ホームページよりお申し込みください。

お問い合わせはこちらから。



■Osaka Metro御堂筋線・北大阪急行「緑地公園駅」より西へバス9分または徒歩18分
■阪急電鉄 宝塚線「曾根駅」より東へバス5分または徒歩15分

履正社中学校・高等学校

RISEISHA



募集要項など詳しい内容はホームページで。

riseisha.ed.jp